

# 応挙は何を遺したのか

入場  
無料



画聖応挙とその一門の作品を、今に伝える亀居山大乗寺。  
応挙は、大乗寺客殿建築の当初から計画に加わり、  
各部屋を、誰に描かせるのか指示していました。  
応挙が演出した芸術空間、  
何を見せ、感じさせようとしたのか  
そして、何を遺そうとしたのか。

王羲之龍虎図 円山応挙筆 大乗寺蔵 部分

## 講演会「応挙が東洋と西洋から取り入れたもの」

- 日時 令和6年10月26日(土) 午後2時から
- 場所 香美町立香住区中央公民館 文化ホール
- 講師 佐々木 丞平氏 京都国立博物館名誉館長  
京都大学名誉教授  
佐々木 正子氏 嵯峨美術大学 学長  
日本美術史教授
- 演奏 沈佳(シェン・ジャー)氏 二胡  
フローリン・クロイトル氏 ヴァイオリン

円山応挙は「写生画」を生み出し、更に中国画や西洋画も研究し、我が国随一の絵師となって近代日本画の礎を築きました。中国の楽器である二胡と西洋の楽器であるバイオリンの演奏を通して、応挙が東西の異なる文化から何を取り入れたのかに思いをはせ、日本に唯一存在する香美町・大乗寺の壮大なからくりに迫ります。

主催 香美町教育委員会 協力 宗教法人 亀居山 大乗寺

後援 但馬文化協会 但馬公民館連合会 香美町商工会 香美町文化協会 香美町香住観光協会

同時開催

円山応挙  
特別展 入場  
無料

期間 令和6年10月25日(金)~10月27日(日)

午前10時から午後6時

場所 香住区中央公民館 視聴覚室

出展予定作品 王羲之龍虎三幅対、波上白骨坐禅図

柳下狗子図 他 展示予定の作品は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。